

平成30年度 地域発 元気づくり支援金 事業実施結果(松本地域)

1 地域協働の推進に関する事業

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
松本地区の動物愛護の推進活動	一般社団法人 ゆめまるHAPPY隊(松本市)	保健所で保護された犬を引き取るシェルターを設置し保護活動を行っているが、飼育場所の一部を改修し、小学生の研修や譲渡時の対面、譲渡後の適正な飼い方の指導の場所として活用することにより、学校や地域、家庭における動物愛護の啓蒙活動を行うとともに円滑な譲渡活動に結び付ける。 ②施設改修工事	3,771,360	2,514,000	継続的な活動を通して、松本保健所の殺処分0に貢献。命の大切さを子ども達へ伝えた。今後は、施設を活かした愛護活動の継続と共に、譲渡チャンスを増やしていただきたい。
第2回まつもと市民会議「考えよう松本の賑わいづくり」	まつもと市民会議実行委員会(松本市)	松本市が目指す「健康寿命延伸都市」の創造に向け、市民とともに成熟社会「ひと・まち・くらし」をデザインする市民会議を開催し、ヘルスケアシティの概念を基本に「歩いて行けるまちづくり」を考える。30年度はワークショップを開催し、賑わい創出プランを提案する。 ①講師謝礼、広報費等	2,210,673	603,000	シンポジウム等を通して、まちづくりについての意識醸成や方向性を検討することができた。これを踏まえて、多くの市民が関わるような取組みとしていただき、今後の活動に期待したい。

2 保健、医療、福祉の充実に関する事業

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
更生保護支援活動～就業先支援拡大事業～	松本地区更生保護協力雇用主会 そえ木の会(松本市)	刑務所出所者等の就業による社会復帰を支援するため、企業に対して更生保護活動の紹介や雇用主となる企業の発掘を行うとともに、保護観察対象者の就業支援のため、サイトの拡充を図る。30年度は公民館等に呼びかけ、青少年の犯罪防止啓発のための勉強会を行う。 ①チラシ作成費、広告費	405,760	304,000	事業成果により、雇用を確保できたことは評価できる。事業内容から、短期的に効果の出にくい取組であるため、長期的な事業の啓発及び認知活動を継続して実施していただきたい。
「我が事丸ごと」地域づくりプロジェクト	並柳団地町会(松本市)	28年度より、県及び松本市の支援事業として、こどもカフェを開設してきた並柳団地町会において、常時開催を目指して、空き店舗を活用し、子どもだけでなく、高齢者も集えるコミュニティーカフェを開設する。 ①店舗賃借料、相談会講師謝金等 ②設備工事費等	4,087,533	3,168,000	子どもや高齢者の居場所づくりとして、利用者が定着しつつあることは評価できる。さらに利用拡大につなげられるよう、事業の周知や各種講座の開催に注力していただきたい。
健康まんまる◎広場 ～医療と住民を結ぶつながりの輪～	信州メディピネット(松本市)	市民が気軽に医療従事者と交流できるコミュニティサロンを開設し、医療従事者が住民への確かな健康情報をレクチャーしたり、様々な健康情報を市民へ発信することで、市民の健康や医療に対する関心を高め、地域医療の増進に寄与する。 ①講師謝礼、広報費等	851,678	671,000	信州ACEプロジェクトの周知や住民の健康に対する意識の向上に繋がるよう、今後も活動を継続していただきたい。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
松本発の住民参加型の医工連携ものづくりモデルの構築	信州メディカル産業振興会(松本市)	患者及び看護、介護する家族がユーザーの立場で参加できる医療機器を考えるセミナー、ワークショップの開催により、今まで、医師と企業で行ってきた医療機器等の開発にユーザーである住民が参加し、医師や地域企業とともに松本発の医療機器、介護用品等を開発する住民参加型の医工連携ものづくりモデルを目指す。 ①セミナー開催費、パンフレット製作費	1,691,821	1,353,000	住民が医療機器・介護用品等の開発に携わることの意義や必要性を示すため、パンフレット・動画の作成、セミナー・ワークショップの開催などを行った。介護者等の意見を取り入れて開発した試作品の実用化を目指していただきたい。
安全・安心な地域づくりに関する事業	フリースペース十色(といる)(松本市)	義務教育が終了した後の不登校の子どもたちに、安心・安全な居場所を提供し、相談に乗ったり、適切な機関に繋げたりすることで、社会の中で適応して生きていかれるよう切れ目なくサポートする。 ①賃借料、備品購入費等	751,849	598,000	約半年で延べ利用者数が447人おり、多くの不登校や引きこもりといった子どもたちの救いの場となっている。また、保護者へのカウンセリング等も必要に応じて実施しており、幅広い支援活動を行っている点も評価できる。
カムカムメニューの普及活動	松本歯科大学 社会貢献・地域連携推進センター(塩尻市)	信州ACEプロジェクトが掲げる重点項目のうち「健康に食べる」ことを推進するため、メニューコンテスト、試食会等を開催し、噛むことを意識した食事である「カムカムメニュー」の普及活動を進める。 ①メニュー写真コンテスト、広報費等	858,623	643,000	継続的に行っている事業で、コンテストや講演会の参加者が増加した点は、地域住民への啓発により関心が高まったためであり、成果があったと言える。今後は、さらなる事業展開も視野に、地域住民の健康寿命延伸のために貢献していただくことを期待する。
里山を活用した子育て・子育て支援事業	特定非営利活動法人わおん(塩尻市)	身近な森林を活用し、森の中で子どもたちが自然とふれあい、保護者は非日常の癒しの場としてゆったりとした時間を過ごす「森カフェ」の取組を普及するため、参加しやすい場所でのセミナーや森でのイベントを開催し、地域の資源である森を活用した子育て・子育て支援モデルとして発信していく。 ①里山子育て・子育てセミナーの開催、周辺備品の購入	1,359,948	956,000	セミナーやイベントの開催により、森を身近に感じ、森に足を運ぶ親子が増えてきている。今後の事業の継続に向けて、自己財源の確保等に努めていただきたい。
高齢者向け地域支え合い事業	シルバーカフェ安曇野(安曇野市)	安曇野市三郷において企業や地域在住の高齢者ボランティアとともに運営する「シルバーカフェ安曇野」を開設し、体力測定や健康教室、認知症の健康増進と社会参加を促す。 ①チラシ印刷費、講師謝金	1,379,744	1,103,000	高齢者の心と体の健康増進を図るため、高齢者生活充実講座や認知症予防講座などのイベントを計画し実施した。高齢者の引きこもり、うつ病及び認知症を予防するため、これらの取組を継続して実施し、地域の支え合い体制を更に充実したものにしていきたい。
体験活動を通して児童館の友達と交流を深める事業	NPO法人チルドレンズ・ミュージアム(安曇野市)	安曇野市をはじめとした松本地域の児童館において普段の活動で実施できないような科学展示の体験活動や工作づくりのイベントを長期休みや平日に開催し、児童館へ通う子どもたちの交流の円滑化や新たな交友関係の構築を図る。 ①展示品材料費等、講師謝金	2,259,072	1,807,000	今後、継続して事業を実施するため、工作用材料費の軽減に努めるとともに、現状の子どもの姿を把握した上でのプログラム展開や、自主財源で開催できるイベント内容の検討をしていただきたい
おやこ303(さんまるさん)プロジェクト事業	塩尻市(健康づくり課)	特定健診の対象外である30歳代を対象に、子の3歳児健診時に親の健診及び保健指導を行うことで、生活習慣病の発見や予防対策のきっかけとし、健康意識の向上を図る。 ①検査委託料等	632,248	505,000	より多くの参加者を集めるための事業の周知や工夫が見られない。単なる健康診断と区別するためにも、事業趣旨に沿った事業計画の改善や事業のPR方法の改善が必要である。
こどもと学生を笑顔でつなぐ歯つらつ教育推進事業	広陵中学校学校運営協議会(塩尻市)	松本歯科大学が立地する通学区をモデル地区として、学生が各校に出向いて、児童生徒と交流しながら歯科保健指導を実施し、健康意識の向上と交流によるキャリア教育の充実を図る。 ①交流事業費用等	453,764	363,000	大学生との交流学习により、地域の児童生徒の健康意識の向上、職業感の充実に効果があった。今後は、より広範囲に事業展開がされることを期待する。

3 教育、文化の振興に関する事業

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
「ことばで育む子どもの未来」事業	塩尻市(子育て支援センター)	絵本をテーマとした親子向けの講演会や絵本作家と親子との体験型ワークショップの開催、絵本作家による壁画作成見学ツアーなどを通して、絵本を通して親子のコミュニケーションを促し、子育て支援に寄与する。 ①講師謝金等	416,280	333,000	塩尻市北部交流センターの工事の遅れにより、壁画を作成する親子ツアーが実施できず、当初予定していた事業効果が得られていない。今後の計画的な事業の実施を期待する。
「おみごと！」な麻績のお宝再発見事業	麻績村(教育委員会)	国重要文化財をはじめ多くの文化財を有する麻績村において、麻績の語りべや地元学芸員の話映像化するほか、アーカイブ化した映像が流れるQRコード付き文化財マップ等を作成し、理解しやすい「知的財産」を残すことにより、小学生だけでなく地元住民の生涯学習に活用する。 ①文化財マップ作成等 ②AVブース設置	1,422,953	949,000	本事業で作成した文化財マップやリーフレットを活用する取組を継続するとともに、地域の歴史証人などの映像化は目標に達しなかったことから、更なる取組の成果を期待する。
住民パワーによるパワースポットのパワーアップ事業	筑北村(教育委員会)	村の指定文化財である修那羅石仏群について、これらの文化財が地域にとって貴重な資源であることを再認識してもらうため、学習会や各種講座を開催し、案内板の設置や環境整備を住民参加により実施することで、文化財を地域の財産として活用し、観光資源の柱として村内外へ発信していく。30年度は石仏群資料冊子を作成し、学習会で活用するほか、遊歩道整備を行う。 ①記録資料冊子作成等 ②遊歩道整備等	3,864,675	2,942,000	石神仏群等の文化財資料冊子の作成、遊歩道や案内板の設置等の整備が計画的に行われた。また、限定的ではあるが、学習会により文化財への関心も高まりつつある。今後は、PRを積極的に行っていただき、観光資源としての活性化につなげていただきたい。
ふれあい町づくり 大日堂	沢村町会(松本市)	地図の文化財と伝承文化を地域全体で守り伝え、子どもから高齢者まで活躍できる地域づくりを行うため、沢村地区の伝統文化財「大日堂」を活用しイベント・学習会を開催するとともに、28年度に復活させた「沢村おんど」を定着させ踊り手を増やすため引き続き納涼祭で発表を行う。 ①講演会謝礼、Tシャツ作成 ②簡易テント購入費	529,885	368,000	地域の伝統や歴史について、子どもに興味関心を抱かせるきっかけとなる事業。今後も継続的な事業の実施を期待する。
民話などの文化遺産を後世に伝える事業	岡田地区まちおこし協議会(松本市)	地域に伝わる民話や伝説等の文化遺産を次世代へ伝え、幼児・児童の郷土愛を育成するため、民話を伝える活動を行っている地域団体と協力し、民話フェスティバルや講演会を開催するとともに、松本城に伝わる民話について紙芝居を制作し、近隣の保育所や図書館等で上演や貸出を行う。 ①民話フェスティバル会場費、紙芝居製作費	905,200	646,000	引き続きPRに努め参加者を増やすとともに、着実に活動されることを期待する。
松本市の近代産業発展の歴史街歩きを多世代で楽しむ事業	第三地区まちづくり協議会(松本市)	松本の近代産業発展の歴史を子どもたちや広く市民に伝えるため、製糸業で栄えた明治時代から昭和初期にかけての松本を紹介するパンフレットを作成するとともに、近代歴史スポット巡りのイラストマップを作成して、観光客へ松本の新しい街歩きの魅力を発信する。 ①冊子印刷、イラストマップ作成費等	745,700	500,000	地区の再開発に伴い変化する地区において、近代産業の歴史的遺産があったことを後世に伝えるため、マップ等を作成して地区の中学生在がまち歩き学習を行った。今後も事業を継続していただきたい。
赤ちゃん先生プロジェクト事業	認定特定非営利活動法人長野サマライズ・センター(塩尻市)	赤ちゃんと母親が先生となり学校等を訪れる「赤ちゃん先生プログラム」を松本市内の小中学校・高校で実施することで、母親と赤ちゃんの社会参画を図るとともに小中学生に命の尊さを学ぶ機会を提供する。 ①講師謝礼、プログラム使用料等	1,816,560	1,453,000	費用対効果の観点から、より多くの参加者が参加できるような工夫が必要。また、女性の社会復帰をより促進するためにも事業のPRや普及啓発にもより一層注力されたい。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
井口喜源治の教育を学ぶ 合うことを通した、生涯学 習振興に資する事業	一般財団法人井口喜源 治記念館(安曇野市)	信州教育の源流として讃えられてきた井口喜源治の足跡と教育理念を学ぶ 講演会や勉強会の開催を通して、次代を担う若者だけでなく地域住民の生涯 学習の振興を推進する。 ①講演会開催費等	514,444	354,000	井口喜源治の教育への取組を教育関係者や地域の 人々へ研修会を実施したことにより、現在の教育にど のように寄与しているか検証しながら、本事業を進めて いただきたい。
安曇野アートラインサマー スクール事業	安曇野アートライン推 進協議会(安曇野市)	安曇野周辺にある美術館・博物館等において、夏季期間に「安曇野アトラ インサマースクール」として親子が気軽に参加できる各種イベントを開催し、 創作活動の楽しみを体験してもらうとともに、観光誘客の促進にも寄与する。 30年度は「山岳画の魅力語る」と題してシンポジウムを開催する。 ①ポスター・チラシ印刷経費、講師謝金	1,848,342	1,373,000	各美術館・博物館による共同の取組は、サマースク ール参加人員の増などから、効果が現れてきている。今 後も各館の特色を生かしながら連携を取り、相乗効果 が図れるよう、継続的な事業展開をしていただきたい。
朝日村の未来へ向けて、 伝統文化継承事業～過去 から未来への懸け橋～	朝日村(子育て支援セ ンター)	児童クラブの子どもたちが地元史談会等の地元住民との交流を通して俳句 の材料収集を行い、子どもたちから募集した俳句と絵をカルタ及び冊子にま とめ、地域に伝承されてきた伝統や文化を見直し、地域の魅力を再認識する ことで、郷土愛を育む。 ①カルタ、冊子製作費	482,760	386,000	子どもたちと住民の協働により、読み札、絵札を作成 し、歴史や文化、地域の特徴を取り入れた朝日村独自 のカルタが出来上がった。今後も幅広く活用していただ きたい。
遊ボール(あそぼーる)松 本プロジェクト	遊ボール松本運営委員 会(松本市)	松本市内の保育園や幼稚園において、遊ボール野球教室を開催し、遊びを 通して、スポーツの楽しさを知るきっかけづくりと幼児期からの運動習慣の推 進を図る。 ①ストラックアウト等購入費	1,009,908	805,000	野球教室は15の園で実施し、約460名の保育園児の参 加があった。スポーツの楽しさを体験し、幼児期から運 動習慣が身につくよう、プログラムを工夫するなどし て、今後も事業展開をしていただきたい。

4 安全・安心な地域づくりに関する事業

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
地域公共交通再構築！！ 「筑北えべさー」出発進行 プロジェクト	筑北村(総務課)	高齢化が進む筑北村において「時間帯デマンド型乗合バス運行方式」を導入 して利便性の向上を図るとともに、利用促進パンフレットを活用して各地区で 出前講座を行い、高齢運転者の免許返納を促進する。 ①パンフレット作成費等 ②車両購入費等	7,911,500	5,000,000	新たなコミュニティバス、運行システムの導入により、 地域住民の利便性の向上が図られており、免許返納 者の利用も促進されている。運行状況の分析による、 さらなる利用促進を期待する。
信州子ども食堂・子どもカ フェの拡大とネットワーク便 り編纂	特定非営利活動法人 NPOホットライン信州 (松本市)	各子ども食堂の事例をネットワーク便りで発信し、信州子どもカフェの機能拡 充と地域の拡大を図るとともに、これから子どもカフェを開設する団体等に役 立ててもらうため、まとめの冊子を作成して、信州子どもカフェ推進のための 広報啓発を行う。 ①ネットワーク便り製本費等	1,014,947	789,000	ネットワークによる情報発信は、信州子ども食堂・こども カフェの推進に効果があった。今後は、子どもの育成・ 地域の活性化・県民の福祉向上につながるよう、さらな る工夫をしていただきたい。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
防災キャンプに行こう！！	朝日村(総務課)	親子で非常食の調理体験をする防災キャンプ、災害時に必要な道具の組み立て等の体験を通して、村の防災訓練の参加する機会のない村民が災害に適したものを考えるとともに、村内の防災士による講座を開催し、防災、減災に対する意識を高める。 ①組立トイレ等購入費	669,600	483,000	開催日当日は台風の影響で参加者のキャンセルが出たが、親子で楽しみながら防災について学べるよう、キャンプ場を会場にする等工夫が見られた。次世代を担う子ども達に防災の必要性を学んでもらえる良い機会となった。
「信州山のおもてなし」推進事業	常念口登山案内人組合(安曇野市)	全国一の人気を誇ると同時に遭難者が最も多い山系である北アルプスにおいて、登山者の安心、安全を守り続けてきた登山案内人組合の活動や山の素晴らしさをまとめたDVDを作成し、組合の後継者育成に努めるとともに、インバウンド向けの英語版も作成し、広域観光の推進に資する。 ①DVD作成費等	2,626,200	2,100,000	作成したDVDの効果的な活用方法や、人材育成に係る取り組みに期待したい。

5 環境保全、景観形成に関する事業

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
松本キッズ・リユースひろば事業	松本市(環境政策課)	リユースによるごみの減量化、循環型社会形成への意識向上を図るとともに、子育て家庭への支援を目的として、家庭で使用しなくなった育児、子ども用品を回収し、年6回開催する配布イベントで無料配布するとともに、子育て支援団体等と連携し、子育て関連の事業を併せて開催する。 ①実施業務委託費等	6,652,400	2,283,000	ゴミの減量化に対する市民の意識は徐々に高まっていると思われるが、配布会参加者が微減となっており、今後さらなる周知や事業参加を促す取組が必要である。
生物多様性保全事業	松本市(環境保全課)	生物多様性の保全に対する関心を高めるため小中学生とその保護者を対象とした環境学習会を開催するほか、地元住民と協働で希少種の保護回復と啓発活動を行う。30年度は、アルプス公園において里山環境の指標となるチョウ類を対象とした市民参加型調査を実施する。 ①調査委託費、講師謝礼	994,220	745,000	小中学生とその保護者を対象にした環境学習会の開催のほか、モニタリング調査等への市民の参加が環境保全啓発になっている。参加者が増加するよう周知していただくとともに、調査結果を様々な機会を活用し、市民の関心を高めていただきたい。
「国宝」中心の地域ブランド化と賑わい溢れるホスピタリティー創出事業	大名町会(松本市)	市の大型整備事業が進み、大きく街並みに変化する三の丸地区において、街のあり方について考えるシンポジウム及びワークショップを開催し、地域住民が一体となって、街のビジョンを構築し提案集を作成する。 ①シンポジウム謝礼、活動記録集作成費	866,680	693,000	シンポジウムや視察を通じて、景観形成等についての方向性を検討することができた。これを踏まえた具体的な取組につながることを期待する。
「安曇野ふるさと遺産」活用事業	NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団(安曇野市)	失われつつある安曇野の貴重な文化遺産を「安曇野ふるさと遺産」として広く市民への啓発を行うとともに、安曇野の暮らしに根付いた生きた文化財として地域住民との協働により保存活用を図る。 ①リーフレット作成費等	922,972	675,000	「安曇野ふるさと遺産」の調査選定に当たっては、市民団体や行政とのネットワークを構築するとともに、リーフレットやポータルサイト「安曇野さんぽ」内に専用ページを作成した。これらの調査資料を活用した文化遺産の保全や、特色ある観光地づくりにつながる取組に期待する。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
昆虫から学ぶ麻績の自然再発見事業「おみごと！昆虫プロジェクト」	麻績村の自然を愛する会(麻績村)	昆虫類の生息数が減少傾向にある麻績村において、昆虫の生息環境をまとめた昆虫図鑑を作成し、農業体験や自然観察ツアーを開催することにより、村に生息する昆虫の多様性を伝え、自然環境を保全する意識の醸成を図る。 ①小型顕微鏡購入費、講師謝金	487,642	379,000	予定通りの事業が実施されており、村内外からの参加者があった点は評価できる。次年度に予定している昆虫冊子の編纂や継続的な事業の推進をしていただきたい。
信州安曇野”水色のみち”整備事業	信州花フェスタ安曇野市実行委員会(安曇野市)	平成31年度に開催される「全国都市緑化信州フェア」に合わせ、市の玄関口であるバイパスを地域住民及び地元小中学生が参加して水色の宿根草を中心に植え、北アルプスを借景とする「水色の連なり」を演出することで、市民による緑化活動の推進及び観光振興に寄与する。 ①花材、資材等 ②対象地耕起	1,230,210	970,000	宿根草を用いた花修景実践活動の実施と講習会を開催した。信州花フェスタの開催により、花や緑の大切さを多くの方が再認識していることから、本事業で整備した花壇を引き続き活用し、全国からの来訪者に向けて”水色のみち”を継続してPRしていただきたい。
炭焼き父さん活き生き事業	お父さん頑張る会(生坂村)	集落や農地周辺の支障木の伐採作業を行い、伐採した木材を利用して木炭・竹炭、木酢液等を生産することで資源の有効活用を図り、地域の炭焼文化を守るとともに、炭焼き体験交流会の開催により都市住民との交流を図り、地域全体の活性化に寄す。 ②薪割機等購入費	987,450	658,000	事業に使用する機械の更新をし、作業負担の軽減が図られた。また、炭焼きを広くPRする活動を行い、高齢化する団体の活動意欲の増進に繋がった。継続的なPRと会員の増加に努め、地域の伝統継承と環境保全を続けていただきたい。

6 産業振興、雇用拡大に関する事業 (1) 特色ある観光地づくり

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
COOLな松本エリアProject	松本広域連合	松本地域の地名度は低い潜在力のある村の観光資源への誘客を促すため、首都圏等で旅行会社に委託したバスツアーを誘致するほか、松本エリアの「観光」「特産」周遊ガイドブックを作成し、「信州花フェスタ2019」のPRを行う。 ①ガイドブック作成等	6,261,192	5,000,000	バスツアー運行支援事業において、農産物の収穫体験等を組み入れたツアーを販売したが、催行人員に達しず未催行となったのは残念であった。次年度以降のツアー作成に期待したい。
人と自然に優しい乗鞍高原トイレと花いっぱい事業	のりくら観光協会(松本市)	乗鞍高原内に携帯用トイレブースを設置し、その廃棄物を花壇や畑の肥料として活用するシステムを普及するとともに、自然にやさしいトイレモデルとして発信していくことで、山岳観光地づくりと乗鞍高原を訪れる観光客の増加を図る。 ①携帯用トイレブース ②備蓄倉庫設置	918,390	721,000	事業による携帯トイレの啓蒙活動により、集客数の増や利用者の満足度向上に一定の効果があった。廃棄物を資源とする肥料の実用化へ向けて期待したい。
多文化人財「日本人も外国人もみんなで魅力ある地域づくりを」	特定非営利活動法人 中信多文化共生ネットワーク(松本市)	松本市在住の外国人を講師に起用し、松本への来訪人数の多いアジア圏の文化や言葉を学ぶ講座を観光従事者や一般市民を対象に開催し、魅力ある観光の街づくりを行う。30年度は外国人講師の発掘、育成のための研修を実施する。 ①講師謝礼、会場費等	740,190	590,000	松本在住の外国人22名が松本の魅力や観光情報をSNSで発信するボランティアに登録し、観光情報サイトと連携して6万人以上の海外在住者に8言語で松本の観光情報を届けることができた。外国人講師の発掘、育成もっており、今後の活動に期待したい。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
訪日外国人旅行者にとって魅力ある観光地づくり事業	魅力ある観光地づくり実行委員会(松本市)	外国人旅行者向けの瓦版(パンフレット)を作成し松本城で手渡しするほか、観光情報発信拠点を設けて、観光体験プログラムを紹介することにより、外国人旅行者向けの着地型観光を促進し松本地域での滞在時間の増加を図る。 ①瓦版印刷費、ホームページ製作費等	2,774,104	2,208,000	松本城を訪れる外国人観光客の地域内周遊促進、滞在時間延長を図るために重要な取組であり、地域の経済等への波及効果が期待できる。また、行政等との連携体制が構築されている。
北アルプスエリアにおけるインバウンド向けサイクリングツアーの構築事業	日本アルプス観光連盟(松本市)	北アルプスエリアが誇る雄大な景色を見ながら楽しむサイクリングツアーを開催し、ロードバイク大国である台湾向けに情報発信するほか、ホームページを多言語化することで、外国人観光客増加及び松本空港の利用促進を目指す。 ①ホームページ多言語化費、備品購入費等	4,165,784	2,924,000	当初実施予定だった海外メディア招聘が次年度以降に見送りとなった。本事業により多言語化したHP等を活用した効果的なインバウンド誘客の取組を期待する。
美ヶ原高原 ブランド化推進事業	美ヶ原観光連盟(松本市)	美ヶ原高原の「星空」を新たな魅力として発信するため、標高2,000mから星空を楽しむイベントを開催するとともに、ボランティアガイドのスキルアップを行う研修会を実施することで観光の質を高め、観光入込客数の増加を図る。 ①イベント運営委託費、ガイド用拡声器購入費	585,894	439,000	天候により当初予定していた事業が十分に実施できなかった。継続して取り組むことにより、美ヶ原高原の「星空」のブランド化が図られることを期待する。
新価値創造モデルを活用したコンテンツ開発および地域PR推進事業	一般社団法人 松本市アルプス山岳郷(松本市)	アルプス山岳郷エリアにおいて現状調査、ワークショップ開催等によりコンセプト案を作成し、コンセプト評価調査を基に地域資源を活かした魅力的なプログラム案を開発して、交流人口の拡大と地域経済活性化を目指す。 ①コンセプト及びプログラム案作成等委託費	8,208,000	5,000,000	アルプス山岳郷エリアを訪れる客層のデータ分析等は今後の観光振興に必要な事業だと思うが、それをどのように活用するのか、どのように改善を図るのかについての事業展開が浅いと感じる。
奈良井宿のおもてなし商品開発事業	桜香会(塩尻市)	奈良井地区で栽培されているトウブキを活用し、漬物やお菓子として商品開発を行うことにより、飲食店やお土産屋、宿泊施設等が一体となって地場食材の消費拡大や増加する外国人観光客に食を通じた体験機会の提供を行う。30年度は、商品加工所を整備し、新規商品の開発を行う。 ①商品ラベル印刷費等 ②加工所整備工事費	3,223,131	2,301,000	地域資源を活用した商品を開発、商品化し、奈良井宿でしか手に入らない販売方法は評価できる。また、何度かメディアにも取り上げられ、奈良井宿の新たなPRに繋がった。
ワインバス運行事業	一般社団法人塩尻市観光協会(塩尻市)	市内のワイナリーを巡回するシャトルバスや、松本市及び安曇野市のワイナリーとを結ぶ広域周遊バスを運行させ、信州デスティネーションキャンペーンと連携した企画旅行として実施することにより、松本地域の観光産業の発展やワイン産業の発展を得る。 ①バス運航費、広告費	2,384,640	1,861,000	30年度は新たに信州まつもと空港利用者をターゲットに運行ルートの追加や本数を増便した。今後も、空港利用者の着地型旅行プランとして定着するよう、運行を継続していただきたい。
やっぱり、すごい木曽漆器!! 魅力再発見事業	塩尻市木曽平沢区自治協議会(塩尻市)	木曽漆器の生産地である塩尻市木曽平沢地区において、木曽漆器の魅力を地域の子もたちや、観光客に伝えるための取組として、子ども向けワークショップの開催、旅行者向け工房見学を、関係団体等と連携して実施することで、木曽漆器の技術者の育成と、魅力向上を図る。 ①講師謝金、広告費	3,345,000	2,676,000	各種メディアによる広報がされ、木曽漆器の魅力を周知するとともに、前回を上回る参加者があった点は評価できる。継続的な実施に向けて、事業内容を計画し、伝統文化の継承につながる事業を実行していただきたい。
安曇野シェアサイクル事業	一般社団法人安曇野市観光協会(安曇野市)	安曇野市西山山麓エリアにおいて、マイカー以外の来訪者が点在する観光スポットに立ち寄る手段として、シェアサイクルシステムを導入し、二次交通の充実を図り、周遊滞在型観光を推進する。 ①自転車、ポートリース費用等	2,288,158	1,770,000	シェアサイクルポートの増設などのハード整備やサイクルマップの作成など、更なる利便性及び利用率の向上に努めていただくとともに、持続可能な運営体制構築を図っていただきたい。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
善光寺巡礼の道プロジェクト-元善光寺から善光寺まで160kmの歩き旅へ-	NPO法人善光寺街道歩き旅推進局(麻績村)	塩尻市中山道洗馬宿から善光寺へ至る「善光寺街道」と善光寺発祥の地である飯田市元善光寺から伊那街道をつなぎ、約160kmの長野県を南北に縦断する近世の街道「善光寺巡礼の道」とし、パネルディスカッションや沿線地域住民の交流を通して、歩く道としての復興を目指す。 ①講師謝金、バス代等	3,404,937	2,508,000	有識者によるイベント、パネルディスカッション等を実施し、善光寺巡礼の道を関係自治体や沿線住民へ周知を行ったが、歩き旅の啓発までには至らなかったことから、本事業の広域的な観光資源化に向け、関係事業者との連携に努めていただきたい。
信州いくさか 空のバリアフリー事業	生坂村観光協会(生坂村)	車いすパラグライダーの体験会の開催等を通してその魅力を発信し、障がい者スポーツとして定着するよう努めるとともに、アウトドアを核にした体験型観光地づくりにより観光振興を図る。 ①体験会開催費等	1,984,404	1,488,000	車いすパラグライダーの魅力をVR動画を通じてアピールできるようになった。今後は、観光客の誘客につながる魅力的なPRの実施に期待したい。
信州山形村産長芋料理レシピ集活用及びやまっちそば普及事業	山形村観光協会(山形村)	村の特産品である長芋普及拡大を図るため、長芋の特色を活かした調理方法を研究しレシピ集を制作するとともに、長芋を使った「やまっちそば」を名物として発信していくため、リーフレットを制作し、県内や中央道SA等でプロモーション活動を行う。 ①プロモーション等	2,271,415	1,755,000	プロモーションイベントを通じて長芋のレシピを広くPRができた。継続的なプロモーションと関係団体との連携による長芋の需要・消費量増への発展を期待したい。
「わいわい広場」の建設事業	わいわいプロジェクト(松本市)	浅間温泉を訪れる観光客や地元住民が交流できる場所に、年間を通して収穫できる「温泉イチゴハウス」、近隣の農家や加工業者と連携した「直売所」を整備し、浅間温泉活性化の拠点とする。 ①イチゴハウス部材等 ②コンテナハウス一式	6,066,394	4,710,000	事業内容に変更点などが多く、事業計画の熟度が低い。事業効果を高めるために、事業PRや販売商品の充実に努めていただきたい。
信州松本味噌普及プロジェクト	松本食堂サミット(松本市)	松本地域の味噌を活用したイベントを開始することで、味噌文化の重要性を再確認してもらい、味噌の消費拡大と中心市街地の活性化にも寄与する。30年度も回遊性を高めるため、スタンプラリー型のイベント「まつもと味噌さんぽ」として実施、オリジナルギフトの開発を行う。 ①パンフレット製作費、広告費	3,211,616	1,025,000	事業収入、協賛金等の収入の増加と事業費の精査等により、事業を継続していただきたい。

6 産業振興、雇用拡大に関する事業 (2) 農業の振興と農山村づくり

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
安曇野産ホップ生産と麦芽栽培による遊休荒廃農地活用事業	安曇野産ホップを生産する会(安曇野市)	安曇野地域においてホップを新たな地域資源とするため、ホップ生産の基盤整備(ホップ棚の整備)と、地ビール向けの二条大麦の生産拡大に向けた技術講習を行うことにより、ホップの地産化と遊休荒廃地の解消を目指す。 ①技術講師謝金、収穫祭開催経費 ②ホップ棚の整備等	1,061,929	797,000	二条大麦の生産技術向上を掲げ取り組んだ結果、収穫量は目標値を上回ったことから、徐々に取組の効果が表れてきている。安曇野産素材を使った100%地ビールを目指し、更なる生産技術の向上に努めていただきたい。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
おみごと農業研修推進事業	特定非営利活動法人おみごと(麻績村)	村の基幹産業である農業を持続可能なものとし、都市部から移住した若者が地域に定着するための環境づくりを進めるため、NPO法人と村が連携して遊休荒廃農地を活用した生産から販売まで一連の取組を行う農業研修を実施する。30年度は精度測定器を導入してりんごの品質確認を行い、麻績村産りんごのブランド化を目指す。 ①農業体験ツアー等 ②精度測定器	1,487,625	1,173,000	遊休荒廃農地の農地再生面積の拡大や、りんごワイン・シードルの試飲会が実施され、産業振興につながった。今後は、地域活性化につながる発展的な事業の推進に期待する。
夢ステージに挑戦！！農業女子応援事業	生坂村農業公社(生坂村)	近年単身女性の就農希望者が増加している中、女性の就農希望者を受け入れ、女性独自の視点で新しいスタイルの農業、地域での暮らしができるよう、農業体験ツアーの実施や女性農業者同士の交流会を開催し、女性が就農しやすい環境を作る。 ①研修用苗代、講師謝金 ②管理機等	819,183	551,000	研修や交流会、施設整備等により、収納環境整備が進み、研修生の受け入れを行うことができた。更なる受け入れへの態勢づくりや、女性独自の感性を生かした農業スタイルの確立を目指していただきたい。

6 産業振興、雇用拡大に関する事業 (3) 森林づくりと林業の振興

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
朝日村の森林資源を有効活用したクラフト家具の作成・体験及びPR事業	朝日村(産業振興課)	古民家を改修したゲストハウス整備に合わせ、村産カラマツを使った家具を制作するとともに、県内外のイベントへの出展や村営のクラフト体験館での木製家具作成の体験プログラムの提供を通じ、木工クラフトのブランド化や村産材消費量の向上、村の交流人口の拡大を図る。 ①クラフト家具製作、運搬費	3,443,696	2,754,000	村産カラマツやクラフト家具をPRする体制等が整備された。ブランド化に向けて、継続的な取組が必要である。
「第3回信州バザール」普及推進事業	一般社団法人 信州木造住宅協会(松本市)	地元工務店等が協力し、様々な業界団体や学校、行政関係機関と連携し、木造住宅の普及や県産材の利用促進、更には家づくり等に関する各種技能者の育成、啓発を行うイベント「信州バザール」を開催することで、業界や産業の垣根を越えて地域住民に地域の魅力を発信する。 ①信州バザール開催経費	5,137,710	2,995,000	事業収入、協賛金等事業収入の確保と事業経費の精査により、事業を継続していただきたい。

6 産業振興、雇用拡大に関する事業 (5) その他地域の特色及び個性を活かした産業振興並びに雇用拡大に資する事業

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
新卒I・Jターン定住化促進事業	松本市(政策課)	就職期を控えた大学生を対象に、塩尻市、安曇野市と連携して松本平での暮らしや働き方の魅力を実践者の話とともに紹介するセミナーを開催し、企業見学を実施することで、松本平へのI・Jターンを誘引し新たな人の流れを創る。 ①セミナー等開催委託、チラシ印刷費	804,927	483,000	企業と連携し、松本地域への就職につながる効果が一定程度あったが、参加者が少なかったことが残念。情報発信の工夫をし、さらなる事業展開を期待したい。
紙のタイムマシン活用事業	塩尻市(庶務課)	塩尻市に研究拠点を置く企業が開発した、使用済みの紙から新しい紙を再生する室内古紙再生機を市役所市民ホール等に設置し、廃棄文書等の再利用などを推進するとともに、市民の士業者や団体等からの古紙持ち込みも行う、協働による古紙再生システムのモデルケースとして構築する。 ①古紙再生機(2台)使用料等	6,212,584	4,654,000	前年度と比較し製紙枚数の増加が図られていることは評価できる。見学会等の事業啓発活動を行っているが、単なる見学会とならぬよう、環境意識の向上へつながるよう、今後の発展的な取組に期待する。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
有機で創る元気な里づくり事業～スーパーぼかしを使った野菜作り～	生坂村(振興課)	よもぎ酵素を使った独自の有機肥料による野菜栽培を試験的に行い、平成30年に村内に設置が予定されている農産物直売所等で販売するための特色あるブランド野菜構築に取り組む。30年度はブランド野菜及び有機肥料を普及させるため、PRパンフレット等を作製する。 ①有機肥料材料費、販売促進物品作成費	1,361,265	1,089,000	村独自の有機肥料を広めるための基盤ができあがった。今後も「いくさかの郷」等で肥料及び野菜の販売・ブランド化や、消費者にとって、より安心につながる取組を継続していただきたい。
女性のための起業副業お仕事マルシェ信州プロジェクト	日本一女性が起業しやすいまちづくり信州実行委員会(松本市)	地元の女性が「起業」という働き方に気軽に興味、関心をもてるようなブースや既に起業している女性の相談・情報提供窓口を設けたイベントを開催し、女性の企業を応援する。30年度はホームページを開設し、イベントへの出店、参加情報等を掲載する。 ①広告掲載、ホームページ製作費等	1,608,568	1,276,000	目標とする来場者数を大きく上回り、魅力的な情報発信がされていた。出展者説明会を実施する等の積極的な取組みが支持されたと言える。今後のさらなる事業展開を期待したい。
長野県高等学校コマ大戦の実施	まつもと広域ものづくりフェア運営委員会(松本市)	来場者の小中学生に工業高校の生徒の活躍を見てもらうことで、ものづくりや理工学に関心を持ってもらうとともに、参加する高校生にとっても日頃の成果、技術力を発表する場を提供する。 ①コマ対戦運営費、広告費等	987,042	622,000	7校30チームが参加し、参加する高校生のコマの製作の成果・技術力を披露する場を設けることで、ものづくりへの興味を刺激することができた。今後は地元での製造業の就職に繋がることに期待したい。
松本スイーツ開発・普及事業	松本スイーツ開発・普及事業実行委員会(松本市)	松本を代表するお土産となりうる「松本スイーツ」を開発し、商品化するため、オリジナルスイーツの開発を行い、ブランド育成を進め、地域活性化や観光誘客を図るとともに、「スイーツの街まつもと」を目指す。 ①チラシ・ポスター作成費、イベント運営委託料	2,618,098	1,418,000	継続的な取組により、年々認知度が向上してきている。また、イベントでの売り上げも好調である。事業を通して誕生した「松本スイーツ」を活かし更なる展開を期待したい。
地域協働による一の瀬産「信州ひすいそば」のブランド化推進および当該山間地域における6次産業振興事業	特定非営利活動法人Mi-Sha(松本市)	松本市三才山・一の瀬地区において、「信州ひすいそば」の普及を目指す地元団体と協働し、栽培から製粉、そばの販売まで地元で行うことにより、産業振興及び雇用の創出につなげ、地域活性化に寄与する。 ②そば製粉機等購入費	3,839,400	2,879,000	昨年12月に「信州ひすいそば」を提供する店がオープンした。地元団体との協働により、地域の活性化を図っていただきたい。
地場産品を活かした洋菓子の地域ブランド開発事業	長野県洋菓子協会(松本市)	県内洋菓子店を紹介し特典が受けられるパスポートを作成するほか、新たに「県産果実を使用したギフト菓子」部門を設けた洋菓子コンクール及び県産果実をテーマにした講習会を開催することにより、地元食材を活用した洋菓子の開発及び普及を行う。 ①コンクール開催費、冊子作成費等	3,553,747	2,800,000	作成した「ながのスイーツガイド」の利用実績が十分でなく事業効果が限定的であった。事業の実施方法や内容について工夫が必要である。
松本・安曇野におけるユニバーサルツーリズム推進の為に地域トラベルサポーターの養成及び実証実験	NPO法人ユニバーサルツーリズムながの(安曇野市)	障がい者、要介護高齢者等が安心して旅行を楽しめるよう、地域トラベルサポーターを育成して受入環境の整備を行い、ユニバーサルツーリズムを推進する。 ①サポーター養成講座の開催、実地研修等	3,168,984	2,410,000	地域トラベルサポーターの養成され、受入れ体制の整備が進んだ。実証実験の結果を観光関係者等と共有するなど、さらに踏み込んだ取組を期待する。
かあちゃんたちの「生坂ブランド」グレードアップ大作戦事業	生坂村農業公社(生坂村)	平成30年9月にオープンする道の駅への出店を控え、若い部員が活動の中心となり、パッケージへの関心も高まっていることから、若い部員の意見、提案を取り入れたパッケージのリニューアルを行う。 ①パッケージ製作費	2,762,460	2,071,000	統一感のあるパッケージによりブランド化が図られた。「いくさかの郷」やかあさん家のPRと共に売上向上へ努めていただきたい。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
”コンパクトヴィレッジ山形村”地域の賑わい創出のための産業振興事業	山形村商工会(山形村)	山形村の商工業者の商品や製品、農産物を含む特産品を広く村内外に宣伝・紹介し、販路開拓を図るため、「山形じゃんずら」や「道祖神と新そば祭り」に合わせ「山形村産業フェア」を開催し、地域の賑わいを創出する。 ①パンフレット印刷費、スリーブ購入費 ②テント、大型プリンター等	1,691,196	1,310,000	チラシの作成や宣伝等によりイベントの賑わいに効果があり、来場者数や販売実績が増となった。継続した開催と、イベント内容の発展によりリピーターの増加を期待したい。
復活！生坂産「ころ柿」事業	生坂村(住民課)	収穫されず放置される柿を商品化するため、干し柿の生産量増加による「ころ柿」ブランドの復活や村の授産施設における就労機会の確保を図る。30年度は9月完成予定の「道の駅」で特産品として販売するため、変質を防ぐ真空包装機を整備する。 ①真空用バック用袋 ②真空包装機購入費	1,282,310	986,000	事業を通じて、「ころ柿」施設の整備が整ってきた。今後は、地域ぐるみでの事業展開や、安定した作業員の確保に努めていただきたい。
松本市波田恋人の丘活性化事業	恋人の丘活性化実行委員会(松本市)	松本市波田地区の活性化を図るため、「恋人の丘」を中心にしたウォーキングコースを開発し、コースの整備を行うとともに、コースマップを作成し、周辺地域の集客を図る。 ①講師謝金、ベンチ設置等	426,631	336,000	事業所の増加や、ウォーキングコースの開設は計画通り実行されたが、目標とする参加者数の増加がなかったのが残念である。今後は、開設したコースを活用し、集客数向上が図れるイベントの開催を期待する。
チャーター便を活用した台湾観光・経済交流、視察事業	松本商工会議所(松本市)	まつもと空港から台湾へのチャーター便を利用した経済団体らの訪問団を編成し、台湾関係団体との観光分野での交流に向けた意見交換や観光物産展等の開催に向けた視察及び市場調査を行うことにより、松本地域の商工振興及び観光振興を図る。 ①交流事業委託費	2,963,084	1,582,000	松本空港国際化の機運醸成に資する事業となった。民間主導で台湾との経済・観光面での交流を継続していくための方策の検討が必要である。
漆器製品の開発、および海外展開事業	ゴー・グローバル(塩尻市)	木曽平沢地区において、ワインボトルストッパーなど漆器の試作品を複数製作するとともに、今後の海外展開を狙った海外向けブランディングについてPR方法を探る。 ①試作品製作費等	2,312,326	1,849,000	漆器製品の海外展開に向けた戦略の検討、試作品の製作を行った。これを踏まえた具体的な取組につながることを期待する。

8 その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
松本ユース平和ネットワーク事業	松本市(平和推進課)	高校・大学生が平和について考え、学習し、発信する機会を設け、松本から平和を発信できる人材の育成を図るため、若者による長崎市への平和訪問と、その成果を発表する出前授業の実施、核兵器廃絶の現状や若者の意見を掲載した平和ハンドブックの発行を行う。 ①平和訪問旅費、講演会謝金	771,286	525,000	若者が戦争や平和について考える機会を与えることに寄与している。今後も新規メンバーを幅広く募集し、活動を継続させていきたい。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
地域づくりインターンシップ戦略事業	松本市(地域づくり課)	若者参加による地域の活性化と若者の地域への定着を目的として、松本大学と連携し、地元志向を持った若者を、地域住民とともに取り組む地域づくりの実践活動と、地域づくりのための講座を通して地域づくりを担う人材としての育成と、地元での就職、起業を支援していく。 ①インターンシップ業務委託費	29,698,790	604,000	若者が地域住民と一緒に交流事業等の企画をすることで、地域活動が活性化した。任期後も若者が地域づくりを担う人材として地域に定着するような支援をしていただきたい。
朝日村プロモーション事業	朝日村(総務課)	村の魅力を伝えるプロモーション動画を作成し、動画サイトや首都圏主要駅での映像配信を行うことにより、村の認知度を高め、交流人口及び転入者の流れを創出する。30年度は作成した動画を首都圏に向けて配信する。 ①動画編集、動画配信料	1,047,600	838,000	作成したプロモーション動画を動画広告として配信したところ、平均よりもかなり高い視聴率であった。今後も作成した動画をHP等で配信し、村のPRを行っていただきたい。
松本地域の異業種連携事業「ゆかたキャンペーン」2018	ゆかたキャンペーン実行委員会(松本市)	商店街連盟や山雅FCと連携し松本市街地で「ゆかたキャンペーン」を開催し、地域の伝統行事の伝承やにぎわいの創出を行う。30年度はオープニングイベントとして駅前広場で、ゆかたを着て参加してもらう盆踊り大会を開催する。 ①会場設営費、チラシ印刷	1,814,708	1,432,000	地域の団体等を巻き込みキャンペーンを実施することができた。また、継続的な取り組みにより、連携する団体が増え、認知度と共に地域との一体感が増してきている。有料化により参加店は減となったが、自立した事業展開は評価できる。
塚原誕生200年と地域づくり振興事業	塚原誕生200年地域づくり振興会(安曇野市)	拾ヶ堰開削を契機に成立し誕生200年を迎える安曇野市塚原区において、記念誌を発行し地域の歴史文化への理解を深めるとともに、国営公園における軽トラ市の開催や農林業体験交流イベント等を開催し、地域の一体感を醸成し伝統文化の次世代への継承を図る。30年度はロケが行われた映画の鑑賞会など200年記念祭を開催する。 ①記念誌印刷費、チラシ印刷費	825,000	660,000	塚原誕生200年記念祭の開催や塚原古墳巡りウォーキングなどを実施したことを契機に地域の歴史や文化を次世代に伝承するとともに、安曇野地域の魅力を継続して発信していただきたい。
おみ光のページェント	麻績村観光協会(麻績村)	冬季における村への来訪者増加を図るため、シェーンガルテンおみの庭園にイルミネーションを地域住民の協働により装飾を行うとともに、フォトコンテストを実施することで、イルミネーションを通じた観光誘致、地域住民の憩いの場づくり、地域活性化等を図る。 ①チラシ新聞折込料等 ②イルミネーション関連機器購入	1,671,820	1,111,000	地域だけでなく、大学生とも連携した事業展開や、来場者数の増えたことは評価できる。星空観賞会・フォトコンテストも計画通り実施されており、今後も継続的な事業の実施を期待する。
第1回日本300名山鉢盛山2447登山マラソン大会	朝日村観光協会(朝日村)	日本300名山の一つで朝日村のシンボルでもある鉢盛山において登山マラソン大会を開催し、県外から多くの人に参加してもらうことで交流人口の増加を図るとともに、村民がボランティアスタッフとして参加することで、村全体で盛り上げる村民参加型イベントを目指す。 ①業務委託費 ②競技用品購入費	3,886,816	1,992,000	初開催であったが、全国各地からランナー283名の参加があり、6割は県外の参加者であった。多くの村民がボランティアとして携わり、ふるまいを意用する等、村全体で盛り上げている点が評価できる。
子どもが輝く地域づくり	特定非営利活動法人しろがね(松本市)	地域の子どもは地域で育てるという気運の醸成等を目指し、合同の祭りを開催し、地域の子どもと様々な大人が交流する機会を増やし町会を越えてみんなで子どもを育てる環境の整備につなげていく。 ①運動会消耗品、チラシ印刷費 ②備品購入費	1,099,894	859,000	様々なコンテンツを開催し、一定程度の参加者を確保できたことは評価できるが、単なる児童館活動とならぬよう、元気づくりの主旨である地域の元気を創出するために、地域の大人たちの生きがいづくり等にも視点を置いた事業展開が必要である。
ゼロエミッション体験会	麻績村観光協会(麻績村)	発電用ソーラーパネルで発電した電気でバッテリーを充電し、制限時間内に充電式バイク等で村内の名所や史跡を巡り、ロゲイニングする新しい観光イベント等を実施し、クリーンエネルギーへの関心を高めるとともに、交流人口の増加を図る。 ①イベント開催費	598,847	438,000	ソーラー充電バイクポイントツアーには7チーム24名が参加したほか、松本市内の工業高校の生徒が講師となった自動運転車製作教室には、親子11組27名が参加し、村内住民との交流の場となった。ポイントツアーには、村外からも多くの人が参加するようPRしていただきたい。